

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 632

政策体系	12	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 学校教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 2. 小学校 - 2. 小学校 現年		
事業名	教育振興事業				
細事業名	教育振興事業				
評価表作成者				教育委員会 学校教育課	柴田 裕子

1. 事業の概要

児童の実態や地域社会の実情を生かして、心の教育、人権教育、環境教育、情報教育、体力・競技力の向上、芸術・文化の振興等特色ある学校づくりの推進を積極的に図る。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

知・徳・体の調和のとれた児童を育成

②事業を実施する必要性

学力や考える力を定着、向上させ、また電子機器に対応できる知識を身につける。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	49,189	30,215	26,415	25,153	43,501	31,000	31,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	500	361	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	5,700	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	49,189	30,215	20,215	24,792	43,501	31,000
職員等の従事人員	人/年	—	0.25	0.60	0.23			
人件費	千円	—	1,444	2,000	1,759			
事業費総額	千円	—	31,659	28,415	26,912			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。
 ※ふるさと南丹応援寄附金から361,000円を充当

4. 主な事業費の内訳

児童用図書購入費	2,971,886円
教材備品購入費	2,561,377円
学力テスト委託料	183,897円
パソコンリース料	14,078,736円

5. 事業結果の概要

地域社会の実情を生かした特色ある学校づくりの推進や、学力の向上・定着に向けた各種取組等の学校運営の検証作業（学力総合調査）により、計画に基づく実践と検証のサイクルを通じ、体系的な事業展開ができた。

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

学校教育環境整備にかかわるものであり、学力の充実・向上を推進し児童一人ひとりの個性能力を發揮できるように努める。学校備品については教育効果の改善向上のために不可欠であり、学校において備品の整備を図り、計画的に執行していく。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

学校教育環境整備にかかわるものであり、学力の充実・向上を推進し児童一人ひとりの個性能力を發揮できるように努める。学校備品については教育効果の改善向上のために不可欠であり、学校において備品の整備を図り、計画的に執行していく。

■平成21年度の所属長評価

③反省点、今後の展開・方向性等
児童教育環境整備にかかわるものであり、学力の充実・向上を推進し児童一人ひとりの個性能力を發揮できるように努めたい。学校備品については教育効果の改善向上のために不可欠であり、学校において備品の整備を図り、計画的に執行していく必要がある。